

KSKP

編集人 特定非営利活動法人ゆめ風基金事務局 (〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-13-43-106)
TEL 06-6324-7702・FAX 06-6321-5662・郵便振替 00980-7-40043
MAIL info@yumekazek.com・WEB https://yumekazek.com/

No.
103

書
左右津安輝子



迷惑をお互い様に 置き換えれば

理事 ^{ながむら}永村 ^{じつこ}実子

阪神淡路大震災の記録集を取り出して読むことがあるが、いつも発見があるし、災害時、みんな本当に大変な中を生き抜いてきたのだ、と改めて感謝と敬意の念を抱かせるものだ。

「障害者たちの144日」「兵庫県南部地震障害者救援本部シンポジウム―障害者のくらしの再生は見えてきたか?―震災2年目を前にして―」「忘れない心が私たちの心 活動の記録」といった記録集は、どれもリアルで詳細に記録されているが、あんなに大変な中でよくぞ記録したものだと頭が下がる。

年月と共に薄れていく記憶、それが当時に引き戻され、様々な人の思いにふれ、そんな中で気になったのが「迷惑」というもの。「障害者たちの144日」で、支援学校の先生が「迷惑をかけやすい社会に（できないと言えること）」で書かれていたのは、ある障害者がラーメン屋で箸を取り出して「おばちゃん食べさせて」とお願いしている姿を見て「目からうろこ」、自分でできることが本人にとっても一番いいことで、人に安易に頼まないこ

INDEX

- 01 「迷惑」を「お互い様」に置き換えれば
- 03 被災地報告 東日本大震災 12年目の3.11
- 04 第22回総会報告
- 06 リレーエッセイ 災害と障害者 第七十六回
- 08 応援団からこんにちは! vol.5

- 09 おおさか災害支援ネットワーク・要配慮者部会
- 10 カンパをいただいた団体 / 事務局のうごき
- 11 会計報告
- 12 各地からの風だより

とを教えてきたけれど、彼が生きていくうえで必要だったのは他人に「頼める」ことだった、と。

まったくその通りだと思う。障害者だけでなく、なかなか自分の弱さ、困りごと、本当は助けてほしいと思っっていることを言えずにあえいでいる人は少なくないと思う。特に今、コロナ禍で仕事を失い、家を失い、食うや食わずの日々の中で「他人に迷惑をかけたくない、けど、助けてほしい」と願っている人たちは増えているのではないだろうか。

例えば児童公園をバイクで走り回るなどの極端な例は別として、よく使われる「迷惑」という言葉。「人に迷惑をかけるな」「歳いって子どもに迷惑をかけたくない」等々。みんな多かれ少なかれ「他人に迷惑かけるな」と言われて育ってきたと思う。でも迷惑ってなんだ？

迷惑と無縁に 生きられる人っているの？

気になってネットで検索するといろと出てきて面白い。「迷惑」という概念がない国もあるとか。「迷惑と

は、他人の行為により、不快になったり、困ったりすること。また、そのさま」とある。迷惑は字の通り、迷い惑うこととで、どうしていいか分からなくなることを意味していた。次第に、他人の行為によって自分自身がどうしたらいいか困惑する意味が強くなり、現在の使われ方に変化していったようだ。

「迷惑」を「お互い様」に置き換えれば随分と楽になることも多いように思う。ところが自分が知らず知らずのうちに「迷惑」とやらの呪縛にとらわれ、遠慮してしまう、卑屈になってしまうことはないだろうか。私自身の体験ではおおいにあるものだ、と後になって気づかされる。

東日本大震災で、被災した障害者を探して避難所巡りをしていたボランティアの一人が「ここに障害者はおられませんか」と聞いたたら、「ここではみんなが障害者みたいなものだ」と一喝され何も言えなかったそうだ。気持ちにはわかる。でも、そのやり取りをもし障害者や家族が聞いていたとしたらどうだろう。なかなか自分の困りごと、「助けて」を言い出しにくいのではな

いだろうか。

災害はいつ起きるかわからない、自分の身にいつどんなことが起きるかわからない、助けられる側、助ける側、それはいつだってお互い様のことで、ならばできるだけ「お互い様」として向き合っていけば、少しの余裕がお互いに生まれるのではないだろうか。

助けることは感動と少しの余裕があればできると思う。でも、自身で「助けて」と言うのはなかなか勇気がいる。災害時、みんなが困っている。だからと言って遠慮しないで、「助けて」を言い合えるようになればいいな、そういう社会であってほしいと願う。

トルコの大地震で、そこに暮らす障害者たちはどうしているんだろうと気になる。気になっても、現地で支援活動をしているNGOの人たちと連絡を取ってお金を渡すくらいしかできないのだが。「100年に1度」と言われる災害が毎年のように発生し、世界のあちこちで大型の自然災害に見舞われる様を見て、気候変動などの人間もたらす自然破壊に関心を持たなければと思う。

被災地報告

東日本大震災12年目の3・11

事務局 阿部 俊介

3月11日は石巻市出身の僕にとって、忘れられない日であって、この日は毎年宮城に帰る事になっています。今後も忘れてはならない日でもあります。今回訪問した大川小学校は、8・6mもの津波が学校をのみこんで児童74名、職員10名が犠牲になったところです。

大川小学校には何度も行きましたが、この日ばかりは亡くなった子ども達の事を思うと辛くなるので行きたくありませんでした。しかし、子ども達の事を考えると、行かなければならないと思う気持ちがあり、行くことにしました。途中で献花台にお供えをする花束を買いました。

今回、大川小学校と一緒に行きたいと言う人がいました。私達とも震災後から関わりのある、NPO法人「奏海の杜」の太齋さんです。到着すると、3・11と言う事もあり、普段の倍以上の人が献花に來られていました。僕達も到着後すぐ

に献花台に花をお供えしました。

その後、被災した校舎を見て回りました。校舎内には当時、子ども達が使用していた物などが色々あり、それを見るたびに亡くなった子ども達が思い浮かんで辛くなります。

大川小学校では毎年3月にシイタケ栽培の体験学習を行っていた裏山があります。裏山を登り避難すれば、津波での被害は免れるはずでしたが、この場所には避難せず、三角地帯と言う場所に避難しようとした為に多くの犠牲を出してしまいました。それを思うと本当に胸が締め付けられる思いになります。

今後、このような被害をなくすため、日頃からの取り組みが欠かせません。学校は子ども達の最後の場所であってほならないと僕は考えます。未来ある子ども達を守らなければならぬと心から思います。



左：大川小学校前の献花台／右：大川小学校裏山から校庭を眺める

催しのお知らせ

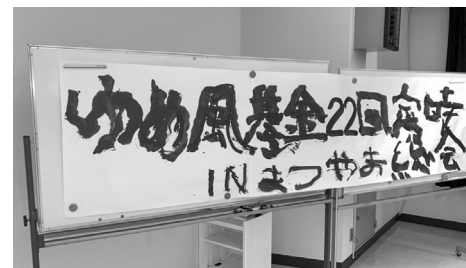
10/6 金曜日 18:30

第18回ゆめ風であいましょう 「原発と戦争を推し進める愚かな国・日本」

- 小出裕章さん（元京大原子炉実験所）・小室等さん
- ココネリホール（東京都練馬区練馬1-17-1 Coconeri 3階）
- 一般1,500円／高校生以下500円／ペア割 2人で2,000円／介護者1人無料
- 申込は、ウェブサイト「カタログハウスの学校」まで



小出裕章さん
(撮影 嘉納雅彦)



第22回 総会報告

2023年3月18日（土）「ゆめ風基金第22回定時総会」が愛媛県松山市で対面とインターネットとの2つの形式で開催されました。3年振りの対面での開催という事もあり、会場内は賑やかな声で溢れていました。

2022年度活動報告・決算報告、監査報告、2023年度事業計画・活動予算、役員補充について諮ったところ、すべての議案が承認されました。

活動報告では、ホームページのリニューアル、FacebookやInstagramなどSNSを活用した広報活動の拡大や、被災障害者救援事業で、2022年3月の福島県沖地震で被害にあわれた団体や、コロナ禍で運営困難に陥った団体への支援も行い、総額760万3870円の救済金を届けた報告がありました。

また、近年、豪雨や台風による災害が多発しており、災害時にゆめ風基金への情報提供や災害支援にあたる「ゆめ風応援団」の呼びかけを行い、滞りなく閉会しました。

今回、愛媛での総会開催に際し、CIL

さんより、宇和島における中間組織設立に關しての報告、〈松野町〉上本さんからは、町の小ささを強みに活かしたネットワークづくりについて、〈NPO法人歩〉白石さんは、災害後の事業再開に際し、受援力と受援計画についての話をしてくださいました。

この他にも、伊方原発近くにある施設の方は、原発に対しての備えも必要で、利用者の命も守らなければいけないし、職員の命も守らなければいけないと発言されました。他にも、医療的ケア児を抱えるご家族が避難所へ行つた時、天気が回復したので家に帰っても良いのではと、避難を拒否されたとの報告もありました。

最後はCIL松山の須賀さんが「障害者団体同士の繋がりがしっかりとあれば、色々と繋がっていきける！まずは1回目の話し合う場を持ちましょう！」と締めくくられました。

両日とも、時間の都合で駆け足の進行となっていました。交流会の様子は、後日ゆめ風ブログにて詳しくお伝えさせていただきますと思います。

（文責・事務局 植野^{うえの}加代^{かよ}）

自分の気持ちを 伝えていける社会へ

私は、社会経験を積むことを幼い頃から遠ざけられてきた。いつも側には両親や学校の先生、施設職員がいたので、失敗を経験することが少なく、守られながら生活を送ってきた。また、「いい子であること」や「周りに迷惑をかけないよう」にすること」を何度も両親に言い聞かせられてきた。そのため、周囲にできない姿を見せるのが嫌で、本来の自分自身を隠しながら生きてきた。それが普通だと思っていたため、おかしなことも思わなかった。

東日本大震災が起きたのは、大学2年生が終わる頃だった。当時入所していた施設から外泊して、実家に帰っていた。私は父を高校の時に亡くしており、その時から母子家庭で育ってきた。震災が起こった日、母親は仕事へ行き、私は家へ遊びに来た祖母と一緒にテレビを見ていた。そして、14時46分。地響きと共に家が揺れ

始めた。宮城県は頻繁に大きな地震が来ていたため、初めは「いつもの地震かな」くらいの気持ちであった。しかし、揺れは徐々に強くなり、私は車いすごと飛び跳ねたのである。家の中にある物は棚から全て落ち、本棚は倒れ、足の踏み場も無いほどとなった。何が起きているのか分からず、怖くて仕方がなかった。祖母に体を支えてもらっていたので車いすからの落下は無かったものの、この時私1人だったら、今ここにいないかもしれないと思うとゾッとする。

母親と弟達は最初の揺れが来てから30分後に帰宅し、祖母は自宅へ様子を見に帰った。あの日は、とても寒く雪が降っていた。家族で避難所へ行くことも考えたが、車いすのまま過ごせるのか分からず、不安なことが多かったため、自宅で一つの部屋に集まり、母と弟と一緒に毛布にくるまりながら大きな余震が続く夜を過ごした。停電になっていたので情報を手に入れる手段がなく、日本が大変なことになっているということを翌日知った。

私は、本当はこのまま家族と離れたいなかった。いつ何が始まるかわからない状況であり、次に会えるのがいつなのかわからない。施設に戻りたくないと言いたかった。しかし、介助



1991年1月23日 宮城県大崎市出身。
生まれつき「脊髄性筋萎縮症」の障害があり、5歳から車椅子を利用。中学時代まで地元で過ごす。高校から特別支援学校に進学し、隣接の国立病院の療養介護を利用し入所する。通信教育学部のある福祉系大学へ進学。卒業を機に、当時、仙台市にあった「CIELたすけつと」に所属し、地域での生活を開始。2017年愛媛県松山市へ引っ越し。現在「CIEL星空」当事者スタッフとして活動中。

の面での負担や自分がいても足手まといになると思い、自分の思いを押し殺して地震発生から2日後に施設へ帰ることにした。そこから、施設で避難生活を送り、「自宅より施設の方が安心できる」という思いに自分の考えを変えていった。この時も私は、自分の思いを発信することをせずに「聞き分けの良い子」として過ごしていた。

この時、もし自分の気持ちを言えていたら。母親にだけ介助の負担を掛けずに生活する制度をきちんと理解していたら。誰かに頼るということができていたら。私自身の生活や主体性は大きく変わっていたのではないかと思う。自分の考えを変えることなく、周りに流されずに生活を送っていただろう。最近、震災の経験をはじめ過去の経験を振り返る度に「私は周りから守られすぎていた」と思うことが多々ある。

現在、私は児童館訪問や小学校・中学校で出前講座を行なっている。子どもたちと近い距離で一緒に活動することで障害者と健常者の境目を無くし、インクルーシブが実現するビジョンを持ちながら活動している。

私には健常者の友人がたくさんいた。友人たちの多くは、「めぐちゃんが困っていたら助けてあげてね」と私の周囲にいた大人たちからよく言われてきたと思う。私の中で子供の喧嘩は、社会性を身につけていくための最初に学ぶ手段だと考える。その喧嘩を私はしてこなかったもので、当時の友人たちとは深く繋がれず、上辺のみの付き合いでしかない。人間関係は、自分から相手を理解していこうと近づくことによって深くなる。自分の思いを伝えようと思うからこそ、意見もぶつかり合う。それができた時に対等な関係ができていく。だからこそ、今は友人と本当の意味でぶつかり合えている。

障害者は常に周囲から守られながら生活してきた。私もその一人だ。どんな時も、自分の気持ちを押し殺し、それが普通だと思い込んできた。当時の思いを忘れずに、今後はお互いに存在を認め合える社会を目指して、これからも活動を続けていきたい。



おおさか災害支援
ネットワーク・
要配慮者部会
事務局長 八幡隆司やまたかし

最近「事務局の動き」の欄に
おおさか災害支援ネットワー
ク（OSN）の名前が良く出て
きています。OSNは東日本大
震災をきっかけに、ふだんから
顔の見える関係づくりを進めて
おこうと、大阪府社会福祉協
会、日本赤十字社大阪府支部
、大阪ボランティア協会など7つ
の団体が呼びかけ、2014年
に発足した団体です。年2〜3
回の定例会を行い、企業やNP
O団体、社会福祉協議会、自治
体など様々な業種がこれまで延
べ880団体が参加し、交流を
深めると同時に日頃から災害が
起きた時にどのような連携がで
きるのかを検討しています。
2018年からはゆめ風基金
もOSNの世話役となり、単に
参加する側から運営を担う立場
になりました。

OSNは7つの団体が世話役
となり運営をしています。代
表団体や事務局団体がなく、7
つの世話役団体は対等な立場に
あります。法人格もない任意の
組織ですが、大阪府や大阪府社
会福祉協議会とは大阪災害支援
活動連携会議という三者連携会
議を平時から年3回程度持つて
おり、災害時にNPO団体等の
取りまとめをする災害時中間支
援組織という位置づけも持つて
います。熊本地震以降、こういっ
たNPO団体等をまとめる中間
支援組織と行政、都道府県社協
との三者連携会議が重要視され
るようになりました。

OSNでは災害時を想定し、
8つの課題別部会を持っていま
す。ゆめ風基金は大阪ボラン
ティア協会とともに要配慮者部
会を担当しています。要配慮者
部会では障害者や高齢者だけ
なく、外国人、子ども、ペッ
連れの人、食物アレルギーの人、
LGBTの人など災害時に支援
を受けにくい人たちの支援を考
える部会です。
これまでこういったマイノリ
ティの人たちの支援は、それぞ
れの分野で行われていたのです
が、この部会ではそういった縦
割りの支援ではなく、横断的に
支援ができないかと考えていま
す。昨年より本格的に部会が動
き出しましたが、全国的にもま
だ例を見ない取り組みなので、
試行錯誤の中で進めています。

災害に備え、
ふだんから顔の見える
関係づくりを

事務局団体のない
ネットワーク組織

要配慮者部会



岩手県大船渡市
NPO法人さんりく・こすもす
理事長 新沼 節子にいぬま せつこ

今この国ではWBCの熱気が冷めやら
ず、世界一になったことで、ずいぶんと
野球人気が高まっているようです。私た
ちの大船渡市は勿論、言わずと知れた
佐々木朗希選手の出身地（正しくは実家
があります）で、因縁の3月11日に世
界デビューを果たした姿には何とも言え
ない感動を覚えました。

ここは、12年前「未曾有」と呼ばれ
る大震災に見舞われました。国がそんな
私たちをどこまで支援してくれるのか、
全くわからない中で、突然、ゆめ風さん
が事業所に訪ねてこられたことは、また、
大きな感動の出来事でした。

こんなこともあるのかと心強くて、そ
の気持ちはどう表現したらいいのかわか
らないほどで、それからゆめ風さんには、
物心両面たくさんの支援をいただきました。

震災が教えてくれた大きなことは、日
常の大切さではないかなと思います。震
災の次はコロナか〜と、違った意味で心
が折れそうになったこともありました
が、いろんな感動と感謝を忘れず、ここ
にいるみんなで、その小さな日常を積み
重ね、日常を失うような被災に見舞われ
た方々を応援していければと思っており
ます。

皆さんありがとうございました。

応援団から
こんにちは！
vol.5

災害時にはより小さな地域単位、「町」や「村」での情報収集が必要になってきます。
そこで、いざ、災害が発生したときに「地域単位」で情報収集してくださる団体を
募集することになりました。それが「ゆめ風応援団」です。

「ゆめ風応援団」のみなさんからの
自己紹介をかねたメッセージを
お届けするシリーズ第5弾！



岩手県気仙郡住田町
NPO法人カトレア会夢考房・カトレア
所長 佐藤 正子さとう まさこ

私たちは就労継続支援B型のサービ
スを通して、夢考房・カトレアの通所者が、
明るく・前向きに・自分らしく、生きら
れるようにと活動を展開しています。

ゆめ風基金との繋がり、2011年
3月に起こった東北大震災の時でした。

当地域には、高齢者用の施設は有しま
すが、障がいを持たれる方々の為の事業
所は無く、近隣の事業所を利用する事に
より福祉の恩恵に浴していました。

当地域にも、障がいを持たれている
方々の為の事業所が欲しいというご家族
の希望と被災地の方々の受け皿になれる
のならばと、夢考房・カトレアを立ち上
げました。

様々な活動を展開させていく折々に、
ゆめ風基金に助けて頂きました。

「カトレアの足跡を語る時に、ゆめ風基
金なくして語れない」と通所されている
方々、そのご家族・職員・理事一同深く
感謝しております。

これから、少しでも、恩返しが出来れ
ばと「ゆめ風応援団」に加わらせていた
だきました。

今後とも、宜しくお願い致します。

…感謝をこめて…

NPO 法人 ゆめ風基金

会計報告

ただいまの基金額

貸付金の残高

0 円

321,903,205 円

これまでの救援金・救援活動費総額

583,542,595 円

総会員数

14,155 人

			前回報告残高	この 3 ヶ月の動き 1 月から 3 月まで	今回報告残高 2023 年 3 月現在
収支計算書	収入の部	会費収入		2,816,510	2,816,510
		寄付金収入		3,429,966	3,429,966
		臨時寄付金収入		47,000	47,000
		助成金収入		122,850	122,850
		事業収入		1,293,832	1,293,832
		雑収入		9,987	9,987
		貸付金返済収入			0
		保証金返済収入			0
		預り金収入		451,063	451,063
		未収入金収入		0	0
		未払金収入		0	0
		合計		8,171,208	8,171,208
	支出の部	救援金支出		2,000,000	2,000,000
		救援活動支出			0
		貸付金支出			0
		基金拡大活動支出		94,547	94,547
		防災活動事業支出		180,260	180,260
		広報活動事業支出		466,887	466,887
		その他事業支出		188,550	188,550
		人件費支出		3,137,063	3,137,063
		その他事務費支出		1,853,889	1,853,889
		預り金支出		578,928	578,928
		未払金支出		280,360	280,360
		固定資産購入支出			0
		保証金支出		0	0
		合計		8,780,484	8,780,484
		差引：収支差額		△ 609,276	△ 609,276
貸借対照表	資産の部	基金特別会計預金	327,853,631	△ 5,950,426	321,903,205
		一般会計現金預金	175,874	5,341,150	5,517,024
		[現金預金合計]	328,029,505	△ 609,276	327,420,229
		障害者貸付金	0		0
		有形固定資産	662,896	0	662,896
		その他の資産	1,100,030	0	1,100,030
		合計	329,792,431	△ 609,276	329,183,155
	負債の部	未払金	210,360	△ 210,360	0
		預り金	273,162	△ 127,865	145,297
		その他の負債	70,000	△ 70,000	0
		合計	553,522	△ 408,225	145,297
		差引：正味財産	329,238,909	△ 201,051	329,037,858

脚注

1. 今回は 1 月から 3 月までの 3 ヶ月間の報告です。12 月末が決算です
ので、収支科目はゼロからスタートしています。

2. 救援金は 1 件の支払いがありました。

3. 職員の増員により人件費が増加しています。

4. その他は特に大きい変動はありません。

災害別の救援金総額 以前に他の災害でお届けした救援金はゆめ風 WEB サイトとブログに掲載しています

東日本大震災	2016 年熊本地震	2018 年西日本豪雨	2022 年福島県沖地震
350,127,104 円	55,598,387 円	45,164,095 円	6,956,790 円

カンパをいただいた団体

お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザー、イベントで集めてくださったりしています。
本当にありがとうございます。もしも記載漏れがありましたら申し訳ありません

1/4	大刀洗町障がい児者親の会ぼけっと（三井郡）	2/6	ビーカンパニー（岐阜市）
	共に結（江戸川区）		聖バルナバ病院礼拝堂（大阪市）
1/6	ベルカテナ（越谷市）	2/11	箕面市人権啓発推進協議会（箕面市）
1/7	コーヒータイム（二本松市）	2/15	プール幼稚園（大阪市）
1/11	Tea for two(四街道市)、聖愛園（大阪市）	2/20	ポジ祭実行委員会（大阪市）
1/12	燦然会（大阪市）	2/22	三角ベース（国東市）
1/13	作業所ゆう（三田市）	2/27	おふいす あうりつつ（交野市）
1/17	常福寺（大阪市）	3/15	いーはとーぶ（さいたま市）
1/18	第 14 回障害児の高校進学を実現する 全国交流集会 in くるめ実行委員会（鞍手郡）		障害福祉センターひまわり（豊中市）
1/19	みみらくの里（五島市）	3/16	共に結（江戸川区）
2/2	ハートフル親の会（大東市）	3/17	ひまわり事業団（静岡市）
		3/20	ケアサポートくらしき（倉敷市）

事務局のうごき

2023 年 1 月から 3 月の動きを一部ご紹介します。

毎週月曜日	事務局会議	毎週金曜日	新 HP 打合せ
1/6	徳島県研修会打合せ（ZOOM）	2/22	宮崎市講演会（ZOOM）
1/12	通信臨時号発送作業	2/25	箕面市推進協 ZOOM サポート
1/17	大阪府地震津波災害訓練	2/26	那賀川市講演
1/23	OSN（大阪災害支援ネットワーク）定例会	3/1	BCP 研究会
1/25	ゆめごよみ 102 号編集会議	3/2	OSN 全体会議
	都島区講演打合せ	3/4	茨木市講演
1/28	ファインサポートパピエ講演	3/9	仙台：同志社大学立木研究室・受託業務最終報告会
1/31	徳島県講演	3/9・10	通信発送作業
2/1	BCP（事業継続計画）研究会	3/13	OSN 世話役会議
2/4	大阪市都島区防災訓練	3/15	OSN 打合せ
2/6	OSN 全体研修打合せ	3/15	編集会議
2/10	102 号編集会議	3/15	東住吉講演（ZOOM）
2/13	遊び雲講演会打合せ、理事会	3/18.	ゆめ風基金第 22 回定時総会 in 松山
2/14	総会打合せ（ZOOM）	3/19	愛媛県・災害時ネットワーク構築に向けて
2/17	OSN 世話役会、遊び雲講演会	3/21	CIL 富山講演
	OSN 全体研修会打合せ	3/24	早稲田大学古山准教授・中学生プロジェクト打合せ
2/18	箕面市身体障害者福祉会講演	3/27	OSN 要配慮者部会企画会議

そよ風、つむじ風、六甲おろし

各地からの風だより

2023.1 - 2023.3

▼ゆめ風だよりNo.1001読んで、インクルーシブ教育実現願う(福岡市) ▼人の命を守る為には反撃能力よりも防災を!!(箕面市) ▼ほそぼそとでも誰かのために役に立っている自分を実感できるのは「ゆめ・風」のおかげです。がんばっていただいて、ありがとうございます(熊本市) ▼戦争は始めてしまったら容易には終わらない。戦後80年近く経つ私たちの国でも遺骨は海や山の中で帰れません。悲しみの傷はずっと続きます(船橋市) ▼世界人類が平和でありますように(高槻市) ▼防衛費の増額を復興予算から使う?何を考えているのでしょうか(平野区) ▼生きてることに感謝して。久々、少しですが、何かにお役に立てただければ。(台東区) ▼戦争準備、原発、今年こそは希望の持てる日々になってほしいです!(八王子市) ▼物価高でお互いさですが、せめて、気持ちを(西東京市) ▼トルコ・シリア大地震に役立ててください(杉並区) ▼80才でコロナ禍ですが頑張っています。わずかですが役立てて下さい(箕面市) ▼毎日のニュースに胸が痛みます。どれだけの命が傷付いているのでしょうか。お世話頂く方々に心よりお礼申し上げます。どうぞよろしく願います(松江市) ▼震災時以来の送金です。一昨年より仕事をするようになりました。少額ですが、皆様が少し

でも笑顔になれば幸いです(秦野市) ▼少しずつ暖かくなってきて、桜の開花が待たれます。皆の気持ちがちよっとでも明るく軽くなればと思います。(荒川区) ▼トルコ地震もあり、震災のおそろしさを改めて感じます(梶原郡) ▼日常生活が戻りますように(知多市) ▼震災、コロナ、ウクライナ日々穏やかな暮らし出来る事、祈ります(世羅郡) ▼東日本大震災、原発事故から12年、その間も多くの災害がゆめ・風の支援、ありがとう!!カンパぐらいしかできないけれど、思いはともに!!原発・再稼働延長はありえない!!(河東郡) ▼平和な世界観がどんどん広がってほしいです(大東市) ▼活動を心強く勇気を持っています。当事者にそった活動、支援これからもよろしく! 私もがんばります。(横浜市) ▼私も災害弱者になりました。大規模災害の時、自助と守護がありますように(小牧市) ▼日々の御活動感謝しております。今、日本は大変な事になっています。88才の私ですが口をあげれば戦争のこわさをうたえています(池田市) ▼貯めるより分ける(四街道市) ▼パンの作業に入るようになり、工賃がアップしました。少しですがお送りします(大阪市) ▼私たち、あの日を忘れてはいけなからほんの少額ですが(品川区)

ゆめ風ブログ (<https://yumekazek.com/blog/>) にも掲載しています

編集後記 現在トルコ地震を支援している「CODE 海外災害援助市民センター」から、障害者の被災者がいるとの情報を受け、被災者の支援および他の障害者情報の調査依頼として、支援金50万円をCODE 海外災害援助市民センターへ届けました。現地の様子は、今回の通信にて報告していただく予定です。また、国内においても全国で地震が多発しております。ゆめ風基金では、迅速に対応できるように各地の被害情報を集めています。

紙面のレイアウト変更に伴い、ゆめ風ネットワークの連絡先は年一回、紙面に掲載することになりました。今後はSNSなども活用し、様々な情報発信を行いたいと思います。(植野)

ゆめ風基金のSNSやウェブサイト

Facebook
yumekazefundYouTube
@user-jt6wo9lk8qInstagram
yumekazekWebsite
yumekazek.com